

栗野アートフェスティバル

AWANOART Festival

夢咲く

Festival

2021
5.16 (Sun) - 28 (Fri)

栗野中オープンスクール

《鹿沼市立栗野中学校》

◆ 米窪 洋介・早崎 勝 二人展 5.17(月)~28(金)
8:30~16:00 ※ 土・日(休)

●ローズクッキー (2枚入).....	100 円
●ローズクッキー (6枚入 / 箱).....	300 円
●ポストカード8枚セット.....	300 円
●卓上カレンダー.....	200 円
●フェスティバル発足からの歩み (冊子).....	1,000 円

◆ 栗中バラ園鑑賞 80種類のバラが美しく優雅に咲き誇ります。

◆ 常設展 / 花マップ展示

旧栗野中アートフェス

《旧栗野町立栗野中学校》

◆ 現代アート展 5.16(日)~28(金)
10:00~16:00 ※ 月(休館)

【出品作家】藤原 京子・小杉 国夫・小杉 卓
薄井 隆夫・花田 千絵

◆ 「私たちの道祖神」展



◆ あわのアートフェスティバルHP

<https://awanoartfestival.com/>



主催 花と芸術の街・あわの実行委員会

後援 鹿沼市教育委員会 下野新聞社

協賛 栗野建設株式会社 あいだ菓子店 (株)石黒 市川自動車 井戸産業(株) 牛屋の内屋よこお 鰐原歯科医院 (株)大川勝平商店 (株)オオモリ
 金子医院 (株)鹿沼教材社 (株)黒子松屋 (有)小磯菓子店 (有)小林製作所 (有)斎藤書店 末広製菓 清美館 清流の郷かすお (有)高見林業 (有)樽見書店
 TAKクリーンテイク 手打そば処 嵯峨 峠の味とこころ大越路 中入栗野むらづくり推進協議会 (有)西村 (有)花農場あわの フィッシング・リゾート上永野
 (株)牧野 (有)松屋旅館 (有)マロニエ観光 宮入そば (株)野州麻 (株)横根交通 (株)大塚カラー (株)サンユー (宗)常楽寺 小曾戸廣 関口聖子

地域の夢実現事業

《鹿沼市立栗野中学校》



米窪 洋介

私は自然の要素として、風や水の流れ、大地の起伏や日の光などを、自分なりの形体に置き換えて作品制作をしてきました。自然の持つ力、イメージを最大限に引き出し、表現としての未知なる可能性を探求しています。

- 1981 年生まれ
- 2007 東京造形大学美術学科 彫刻専攻卒業
- 2009 東京造形大学大学院 造形研究科修了



霧雨



早崎 勝

生命あるものに惹かれ、呼吸をテーマに制作しています。近年は、タンポポの綿毛に魅了され、小さな生命が自然界の中で継承されていく姿を描きとめています。生命の価値が問われる今日、その癒される姿の中に、受け継がれる大切なものを表現したいと思 いました。

- 1965 栃木県生まれ
- 1992 武蔵野美術大学短期大学部 美術科卒業
- 2003 第57回二紀展 初入選 (以後毎年出品)
- 2009, 2012 第26, 29回 FUKUI サムホール 美術展 佳作
- 2013 第67回 栃木県芸術祭美術展 準芸術祭入賞
- 2015 第10回 中札内村北の大地 ビエンナーレ 佳作
- 第32回 FUKUI サムホール美術展 奨励賞



rising arch

《旧栗野町立栗野中学校》



藤原 京子

「境界と再義の間に在る緊張感」をテーマに、ガラスと鉄の立体・インスタレーションを制作しています。

- Arte Laguna Prize 13 (ベニス、イタリア / 2019)
- 中之条ビエンナーレ (中之条町、群馬県 / 2017, 15, 13)
- 個展 岩崎ミュージアム (横浜市、神奈川県 / 2018, 14, 12, 11)
- 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員 (ソフィア、ブルガリア / 2016)



Pandora



薄井 隆夫

「水鏡」をモチーフにしています。器に水を張り景色を映してみたり、その様子を仮想したりしています。画面に白く浮かぶ形は、映り込んだ植物の姿や隙間から見える空のシルエットです。水底までの距離を思いながら結ぶ像に意識を傾けつつ、意識の箱庭に行き来するものを眺めている様な感覚なのですが、ささやかな気配のようなものが、確かな付まいとして表れて欲しいと思っています。

- 1993 柏市文化フォーラム 104 大賞展 TAMON 賞 優秀賞
- 1996 筑波大学大学院修士課程芸術研究科美術専攻 修了
- 2001 千年の扉 (栃木県立美術館)
- 2002 第21回 安田火災美術財団選抜奨励展 (安田火災東郷青児美術館)
- 2004 VOCA 現代美術の展望 - 新しい平面の作家たち - (上野の森美術館)
- 2006 第5回 宇都宮エスペール賞受賞
- 福島現代美術ビエンナーレ (以降 08 年参加)
- 2008 薄井隆夫展 - in the shallow water - (宇都宮美術館)
- 2012 開館 40 周年記念企画 2 復興祈念「光あれ! - 光と闇の表現者たち -」 (栃木県立美術館)
- 2019 個展「畔に佇む」 (ギャラリー・イン・ザ・ブルー / 宇都宮) など



箱庭の畔から



花田 千絵

街中で生きるネコの、柔らかな毛並みと愛らしさの中に時折見せる鋭い視線、はっとさせられるたくましい生命力。複数の木片を貼り合わせ、木の持つ自然の美しい形や肌合いを活かしつつ、チェーンソーやノコギリといった人工的な道具による加工や着彩を組み合わせ、ネコの気配や印象の表現を試みています。かつて子どもたちがいた旧栗野中学校にネコが遊ぶ楽しい空間を表現したいと考えています。

- 1998 栃木県芸術祭美術展 芸術祭賞受賞
- 2001 第55回二紀展 優賞受賞
- 2002 ~ 2006 パリ市立美術学校 (自彫り教室) 留学
- セルビア、ボスニア、スペイン、フランス、イタリアの国際彫刻シンポジウムに参加
- 2007 第61回二紀展 損保ジャパン美術財団 奨励賞受賞
- 2013 第48回昭代会展 昭代会彫刻賞受賞
- 2013 第11回春季二紀展 新人選抜大賞受賞
- 2013 第67回二紀展 U氏賞受賞
- 2015 第26回吉野工芸の里フェスタ大賞受賞
- 2018 六甲ミーツ・アート芸術散歩 2018 オーディエンス大賞第3位



伸び2



小杉 国夫

日本の自然の最大の魅力は、四季の変化で、春夏秋冬、そこに咲く花もさまざまである。

- フリーランスの写真家
- 著書「とちぎの絶景」 (下野新聞社)
- 「奥日光花と絶景」 (河出書房新社)
- 「東北花と旅」 (山と溪谷社)



露花



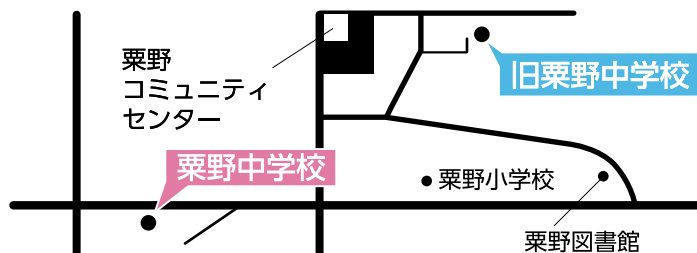
小杉 卓

書を考えるとき、技法はもちろんのことながら、その対象となる言語や言葉、あるいは時間芸術としての表現にも書の可能性は宿っている。

栃木県鹿沼市 (旧栗野町) 出身。祖母の書道教室で書道を始め、茅島貫堂氏、鶴見和夫氏に師事。サントリー伊右衛門の Web CM への出演、マツダのモーターショー (Invalids, Paris) でのパフォーマンス



心に太陽をもて



駐車場 栗野中：東門より入り、校舎南側のロータリー
旧栗野中：校舎東側の校庭

お問合せ 花と芸術の街・あわの実行委員会事務局長 田中 茂
TEL.090-1118-2423